

校 種	小・中 どちらかに○	学校番号	1 3	学校名	宇都宮市立峰小学校
-----	---------------	------	-----	-----	-----------

令和3年度 児童生徒指導に関する取組

1 児童生徒指導上の主な実態

(1) 問題行動等調査から

いじめについては、悪口を言われるなど、友達同士のトラブルは見られたが、教育相談等を通して解決が見られ解消してきた。今年度も教職員一人一人が観察・対話・アンケート・教育相談・授業の充実等の未然防止策を着実に実行すると共に、早期発見・対応に努める。また、児童がいじめを自分たちの問題として捉え、その解決に向けて自主的に行動できるためのいじめ根絶集会等の取り組みを行う。

不登校児童については、学校体制で、保護者・SC・関係諸機関等と連携を図りながら、継続対応中である。望ましい人間関係づくりと教育相談やアンケートを通して、未然防止・早期発見・適切な初期対応を図っていく。

(2) 国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから

「健康でたくましい子（元気）」・「よく考えて進んで学ぶ子（やる気）」・「心豊かで思いやりのある子（思いやり）」を具体目標に掲げ、全校体制で目標達成に取り組んでいる。

「元気」について令和2年度学校評価書アンケート「児童は時と場に応じたあいさつをしている」の回答では、地域住民の肯定的評価は100%、児童・教職員も90%以上の高い肯定的評価であった。保護者の肯定的回答割合は86%であり、一昨年度より2ポイント下回った。コロナ禍で保護者を交えてのあいさつ運動や地域学校園のあいさつ運動等が実施できなかつたことが一因と推測される。今年度は、コロナ禍の状況の中で、心のこもったあいさつができるよう、教職員・地域・家庭が連携し、あいさつの啓発に取り組む。

「やる気」については、「児童は、進んで学習に取り組んでいる」の児童・保護者・教職員の肯定的回答は95%を上回った。コロナ禍で活動が制限されたが、児童は「学習のきまり」や「峰小よい子の一日」を守り、意欲的かつ落ち着いて学習に取り組んだ。今年度も継続して、「できた」「分かった」が実感できる分かる授業を展開したり、教師間の情報交換を密に行ったりすることで、組織的な学習・児童指導体制を構築する。

「思いやり」については、「教職員は、不登校を生まないよう、一人一人の児童生徒を大切に、児童生徒がともに認め励まし合う学級経営を行っている」の児童・保護者・教職員の肯定的回答は95%を上回った。今後も継続して、「ふわふわ言葉などの言葉遣いの指導」「小さな親切運動」「人権週間の啓発」「道徳教育の推進」等全ての教育活動の中で、児童がともに認め励まし合うことのできる育む取組を行う。

(3) 学校生活の状況から

素直で朗らかな児童が多い。多くの児童が協力的な態度で学校生活を送っている。しかし、一方で、どの学年においても、個別に配慮が必要な児童がいる。また、不登校傾向の児童が増えている。チーム体制で指導を行ってきた成果も見られるが、十分でない面もある。引き続き全校体制で、家庭・関係機関等と連携を図りながら指導にあたっていく必要がある。

2 今年度の重点目標

(1) 陽東地域学校園教育ビジョン

「地域の教育力を生かし、地域とのかかわりを通して、確かな学力の定着を図り心豊かでたくましく生きる子どもの育成」

(2) 峰小学校児童指導重点目標（令和3年度学校経営計画より）

【思いやり】「自ら考え、適切な判断と行動ができる児童の育成」

- ・「峰小よい子の一日」や「陽東地域学校園児童生徒の目標」を活用したルールやマナーを守る態度の育成，互いに認め合い励まし合おうとする態度，高め合える学級集団の育成
- ・感謝の集いやいじめゼロ集会の実施，人権標語の作成による感謝する心や生命や人権を尊重する態度の育成

○「特別の教科 道徳」の指導の充実と道徳的実践力の育成

- ・共に学び合う場や互いの良さを認め合う場の意図的な設定による望ましい人間関係の醸成
- ・確かな児童理解に基づく自己肯定感を高める声掛けの継続と個を生かす教育の実践

3 今年度の取組（「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に★，「令和3年度指導の重点」に関する取組は文頭に□，不登校対策に関する取組のうち重点は文頭に○）

(1) ルールやマナーを守る態度の育成

- 「峰小よい子の一日」・「陽東地域学校園児童生徒の目標」の周知徹底（通年）
- 職員生活当番による，生活目標の呼びかけや月目標の掲示（通年）
 - ・長期休業前の「休み中の過ごし方」の全体指導（7月，12月，3月）
 - ・スクールガードリーダーと連携した安全面の配慮「峰スクールガードサミット」（5月）

(2) 生命や人権を尊重する態度の育成

- ★□ 人権週間における道徳授業の実施，人権啓発ビデオ視聴や人権標語コンクールの実施
- ★□ いじめの早期発見・早期対応（年5回の実態調査）と校内対策委員会による組織的対応
- ★□ いじめ根絶集会等の児童会の取組
- ★□ 道徳と総合的学習の時間における心に響く授業の展開
- ★□ GIGAスクール実施に伴う情報モラル教育の充実

(3) 望ましい人間関係の醸成

- 授業の中での学び合いによる児童の相互理解
- ★□ 相手の立場を尊重し，思いやる態度の育成 「縦割り班活動〈仲良しタイム〉・ロング昼休み」
- 特別支援教育を視野に入れた一人一人に対する丁寧な支援と学級経営
- Q-Uテストの実施・分析（6月 5年生は6月・11月）・活用（通年）

(4) 個を生かす児童理解

- 児童実態調査の実施（5月・7月・9月・11月・2月）
 - ・保護者との個人懇談の実施（7月）
 - ・教育相談週間（6月・11月）
 - ・「個人の記録」への情報・事実の記載（通年）→継続指導に生かす。
- ★○ 「児童指導事例研修会」（年2回6月・2月）
- ★○ 職員打ち合わせでの「児童に関する情報交換」の実施（職員会議時）
 - ・おおぞら学級・かがやきルーム・みね教室との連携
- ★○ 校内支援会議（随時）

(5) 家庭や地域との連携・協力

- ★□ 魅力ある学校づくり地域協議会，PTA，陽東中学校区の各学校と連携したあいさつ運動の実施（心をこめたあいさつ徹底運動週間 年2回 6月・10月 通年），マネジメントアンケート（11月）
- 児童の安全確保のための活動
- ★ スクールガードサミット（スクールガードリーダー，安全協力ボランティア，子ども110番の家）
- ★ 安全ボランティアや地域防犯会による登下校班の見守り，PTAや地域の方々による立哨指導
- ★□ 各種行事における連携・協力（峰ファミリークリーン作戦，運動会，峰体育祭，峰文化祭など）